

「統一要求」について

争議解決に向け、当該労組が要求している統一要求は以下の通りです。

注:本要求は、2016年10月19日、日本航空乗員組合、日本航空機長組合、日本航空キャビンクルーユニオンの三労組統一要求として提出しました。その後、日本航空乗員組合、日本航空機長組合が、現日本航空乗員組合に統一されたことから、現在は日本航空乗員組合と日本航空キャビンクルーユニオン二労組の統一要求となっています。

(植木 義晴 社長 宛)

解雇問題に関する三労組統一要求

三度にわたる ILO 勧告と、今般の不当労働行為に関する最高裁の決定を真摯に受け止め、以下の三労組統一要求に回答することを求めます。

また本件要求に対して、至急、貴職出席の上、三労組合同の団体交渉を開催するよう求めます。

記

1. 被解雇者に関する要求

- ① 職場復帰を希望する被解雇者については、組合との協議に基づいて、全員を職場復帰させること。
- ② 復帰に当たっては、年齢や長期にわたる業務離脱を勘案し、十分な手厚い訓練を行うこと。
- ③ 病気等の理由で原職への復帰が適わない被解雇者については、組合との協議に基づいて、地上の職場における雇用を確保すること。
- ④ 年齢などにより職場復帰が適わない被解雇者については、組合との協議に基づいて何らかの補償を行うこと。

2. 希望退職者・特別早期退職者の再雇用に関する要求

職場の人員不足に起因する高稼働、過酷な勤務を改善し全ての乗務員が健康で安心して働ける職場とするために、再雇用を希望する希望退職者・特別早期退職者に、再雇用への道筋をつけること。

3. 解雇問題の円満解決に関する要求

不当労働行為事件を含めた争議状態を円満に解決する為に、被解雇組合員や組合が受けた多大な不利益や負担を補填すること。

4. 労使関係の正常化に関する要求

2010年12月31日付整理解雇が、労使の信頼関係を阻害しただけでなく、職場からの経営に対する信頼感も大きく損なったことを率直に認め、争議解決を通じて、労使関係の正常化、職場の信頼感の再構築、安全運航の推進に全力を挙げることを。